

東芝テックのあゆみ

東芝テックは時代の変化に対応しながらステークホルダーの皆様とともに歩み続けています。これまで培ってきた実績とノウハウを結集し、これからも新たな価値を創造していきます。



「自主自立」を理念に基礎構築

東芝からの分離独立以来、戦後の混乱期を駆け抜け、「自主自立」を理念に新しい事業分野を切り開き、当社の基礎を築く。

- 1950 東京電気器具株式会社設立
- 1952 東京電気株式会社に商号変更
- 1957 レジスター事業に参入
- 1962 三島工場を開設
- 1964 電動加算機「トステック」シリーズ生産開始



小型電動加算機
トステック「BC-401」

1950～

マーケットを世界に求めて 事務機に電子化の波

北米、欧州、東南アジアへと海外進出の本格化。
また、急激に小型・軽量化、低価格化が進み、事務機は電子化にシフト。

- 1969 初の海外現地法人TEC AMERICA,INC.を設立
- 1971 電子レジスター「マコニック」生産開始
- 1972 テック電子事務機(株)を設立
(1977年「テック電子株式会社」に商号変更)
- 1973 マイコンチップ搭載の電子レジスターを開発 **世界初**

POS時代の幕開け プリンタ事業、世界のトップに

プリンタ、POSをはじめとする新たな分野への道を広げ、次代の大発展への基礎を固める。

- 1979 プリンタ分野に進出
- 1979 バーコードによる
スキャニングPOSシステム発売
- 1982 事務用コンピュータ
「事務コン帳作シリーズ」発売
- 1985 シンガポールの法人
SEMICON INDUSTRIES PRIVATE LTD.を買収、
海外生産を開始
(現在は、TOSHIBA TEC SINGAPORE PTE LTD)



スキャニングPOSシステム「M-800」

1980～

1970～



電子会計機
「BRC-32CF-GS」

変革と創造

変革と創造をスローガンに安定した利益を生み出す
事業体制の確立を進める。

- 1994 テック電子(株)と合併し、「株式会社テック」に商号変更
- 1999 (株)東芝から複写機事業を譲り受け、「東芝テック株式会社」に商号変更
- 2001 中国(深圳)で複写機製造の新工場(東芝複写機深圳社)が稼動
- 2004 新経営理念「私たちの約束」制定
- 2004 消せるトナーe-blue対応のMFP「e-STUDIO 350EB」発売
- 2005 東京地区事務所を大崎(品川区)に統合
- 2006 セルフチェックアウトシステム「WILLPOS-Self SS-1000」発売



変化に対応できる 企業をめざして

経営の活性化とPOS事業の伸長を図る。

- 1987 縦型定置式スキャナ
「テックスマートラインスキャナ」発売 業界初
- 1987 飲食店用無線オーダーシステム
「オーダーストリーム」発売
- 1989 無線POSを開発 世界初
- 1989 バーコード事業本格化
- 1992 社会貢献基金活動を開始

グローバルワンストップ ソリューション企業をめざして

- 2011 値引きシール文字認識対応「画像処理式縦型スキャナIS-890T」発売
- 2011 用紙を再利用する複合機システムが
地球温暖化防止活動環境大臣表彰(技術開発・製品化部門)を受賞
- 2012 International Business Machines Corporation (IBM)から
同社のリテール・ストア・ソリューション(RSS)事業を取得
- 2013 ペーパーリユースシステム「Loops」発売
- 2013 オブジェクト認識対応縦型スキャナ「IS-910T」発売
- 2014 電子レシートサービス「スマートレシート」発売
- 2016 分担制チェックアウトシステム「Semiself」発売
- 2017 RFID読み取りセルフレジを発売
- 2017 「消す印刷」と「残す印刷」を1台に搭載した
ハイブリッド複合機ペーパーリユースシステム
「Loops」発売



バーコードプリンタ「B-470シリーズ」



Loops LP50シリーズ